



(4) 指導計画

次 (時数)	学習内容
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本のカバーを作るという学習の見通しを持ち、教材文を通読し、初発の感想を交流する。</li> <li>・テレサの生きた時代背景を捉える。</li> </ul>
2 (5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材文から根拠を明確にしながらテレサの生き方を読み取り、短い言葉で表現する。</li> <li>①貧しい人たちのために働こうと決心するまでの経緯を読み取る。</li> <li>②テレサが貧しい人たちのためにしたことを読み取る。</li> <li>③ノーベル賞受賞などエピソードを読み取る。</li> <li>④テレサの一生を、ブックカバーのあらすじとして100字以内でまとめる。</li> <li>⑤印象的な言葉を選び、それを交流した後タイトルをつけ、ブックカバーにまとめる。</li> </ul>
3 (3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が紹介したい伝記を選び、ブックカバーを作る。</li> </ul> <p>&lt;活用&gt;                      叙述に即して人物の生き方を読み取ること・読み取った要旨をまとめることを生かして、興味のある人物のブックカバーを作る。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の作った伝記のブックカバーを6年生に紹介する。</li> </ul>

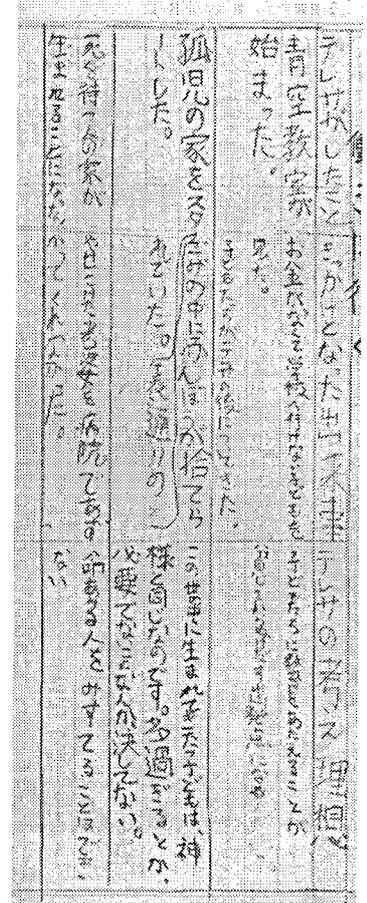
(5) 授業の様子

1次では、単元のゴールの見通しを持たせどのように伝記教材「マザー・テレサ」を読解していくのかを確認した。さらに、「マザー・テレサ」を読解していくにあたりマザー・テレサが生きた時代背景がテレサの考え方に大きく影響していると考え、テレサの生きた時代背景を資料を使って説明した。子どもたちは、自分たちで単元ゴールの相手意識を決め、6年生に紹介したいと意欲を持ち単元をスタートすることが出来た。

2次では、テレサが貧しい人たちのためにしたことをノートに表を使ってまとめながら読み取った。さらに、ブックカバーのワークシートにまとめながら読み取りをさせることでブックカバーの作り方や書く内容、まとめ方などを全員で同じ教材を使って学ぶことが出来た。ワークシートでは、【こんな人の物語です】と【タイトル】を短くまとめて書くことが予想通り難しかった。

3次では、読み取り方を生かして自分が選んだ伝記のブックカバー作りを行った。子どもたちは、伝記月間(1ヶ月間は伝記を出来るだけ読もう!)にたくさんの伝記を読んでいたのですぐに取り組むことが出来た。一度「マザー・テレサ」のブックカバー作りを行っていたので、スムーズに行うことが出来た。ブックカバー作りは、子どもたちにとって2回目だったので【こんな人の物語です】という所で字数制限を行わなかった。

4次では、80冊の伝記に自分たちが作ったブックカバーをつけ、1ヶ月間6年生教室の前に置いた。6年生児童は、ブックカバーにも興味を持ってくれ、伝記を意欲的に読むようになった。



< 2次の読み取りでの児童のノートより > →

<ワークシート>

「マザー・テレサ」のブックカバー作り

名前 ( )

にんごんの物語です!

【印象的な言葉】

【こんな人の物語です】では、本の要旨を100字以内でまとめさせる。

【タイトル】では、短い言葉で人を惹きつけ、そしてその人の生き方や願いを短い言葉で表す。

【印象的な言葉】では、セリフを抜き出させ、その理由や学んだことを書かせる。

<児童の作品>

夢を現実に変えた

ミラクルパワー

清原知尊

こんな人の物語です。

清原は、甲斐國でホームランを15本も打ちました。その土地の人々が、清原の打撃を「ミラクルパワー」と呼ぶようになりました。清原の夢だった「巨人」に入りました。でも、夢だった巨人は、人々を助けるために、清原を助けてくれました。清原は、巨人の力を借りて、人々を助けることができました。清原の夢は、現実になりました。

【印象的な言葉】

この足がこれだけで動くことができます。アリです。

人の心のゆみを愛と勇気に変えた救世主

キリスト

こんな人の物語です。

キリストは、人々の心を救うために、愛と勇気を持って生きてくれました。人々の心を救うために、キリストは、愛と勇気を持って生きてくれました。キリストは、人々の心を救うために、愛と勇気を持って生きてくれました。

【印象的な言葉】

愛は、人を救う力です。

かがやかしい未来のといふをふしあげた人

ライト兄弟

こんな人の物語です。

ライト兄弟は、飛行機を発明しました。彼らは、人々を空へ連れて行くことができました。ライト兄弟は、飛行機を発明しました。彼らは、人々を空へ連れて行くことができました。

【印象的な言葉】

飛行機は、人々を空へ連れて行くことができます。

こんな人の物語です

【印象的な言葉】

こんな人の物語です。

彼は、人々を助けるために、愛と勇気を持って生きてくれました。彼は、人々を助けるために、愛と勇気を持って生きてくれました。

【印象的な言葉】

愛は、人を救う力です。

人々の救い主

～キリスト～

大きな救い主

キリストは、12才の時、はじめてエルサレムの「神殿」に行き、神の聖なる書物たちと話し、32才の時、十字架で死なせられました。33才の時、復活しました。34才の時、人々のために十字架で死なせられました。34才の時、キリストは、人々のために死なせられました。

【印象的な言葉】

あなたたちは世の光。

理由

世の中に、光が必要なのと同じで、世の中には、人々が救われるということがあるからです。

学んだこと

私は、人々を救うために、世の中に光を届けることを学びました。

私は、人々を救うために、世の中に光を届けることを学びました。

### 3 成果と課題

(成果) 活動型単元学習をすることで、子どもたちが意欲的に授業に参加することが出来た。ブックカバー作りをするという明確な目標を持たせること(活動目標)で、読み取りを行う中でこの教材をどのようにまとめていったらいいのかを全員に考えながら読み取らせていくこと(学習目標)ができ、とても有効的だった。

また、たくさんの伝記に触れることで、自己の生き方につなげて考えることが出来るようになってきた。この授業をしてみて、子どもたちが生きていく中で少しでも多くの偉人について触れる機会を作り、それが自己の生き方につながったことが良かったと考える。毎日書く3行日記や、家庭学習の日記の中に、伝記について共感できる部分などを書く児童もでてきた。また、説明的文章だけではなく伝記教材においても、活動型単元学習は有効だと感じる事ができた。

(課題) しかし、ブックカバー作りにおいて100字程度でまとめられると思っていたため字数制限を行わなかったが、難しい児童もいた。子どもによって内容の深さに偏りがあり、課題となった。また、子どもの経験や考え方に大きく差があり、伝記教材という人の考え方に触れた文章の読解は、否定も出来ずそれぞれの考え方・感じ方を練り合うことは難しかった。伝記教材の読解方法も、これからの課題である。

<児童の日記より>

#### 「感動したこと」

5年生の2学期になって、国語で「マザー・テレサ」の勉強をすることになりました。「マザー・テレサ」の勉強のために、9月は伝記月間になりました。伝記月間というのは、読書の時間などを使ってできるだけ多くの伝記を読む月ということです。

私が読んだ伝記は、「ヘレンケラー」「ナイチンゲール」「リンカーン」「野口英世」「マリアントワネット」「キリスト」などです。その中でも一番感動したのが、「ナイチンゲール」でした。

ナイチンゲールは、家族みんなが反対しているのに必死にたのんでかん護婦になりました。軽い気持ちでなりたいたいと思っているのではなく、真げんにかん護婦になりたいと思う強い気持ち伝わり感動しました。すごく必死になって、病気の人やケガをしている人を助けたいという思いはすごいと思いました。これは、国語で勉強したマザー・テレサの貧しい人を救いたいという思いと一緒だと思いました。

そして、マザー・テレサと似ている所がもう一つありました。それは、病気で死にかけている人を最後まで見てあげるといふ強い心があることです。テレサは、死にかかっている貧しい人を最後まで見ていました。

私は、やさしい心は大切だけどやさしいだけでは何も出来ないと思いました。やさしさと強い心がないといけないと思いました。

ナイチンゲールの生き方を知って、私はテレサやナイチンゲールのようににはできないけれど、困っているお年よりやなやんでいる小さい子どもに勇気を出して声かけをしていこうと思います。

これから、もっと色々な伝記を読んで色々な人の生き方や平和、自然について勉強をしていきたいです。